備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成24年度事業）

事業の概要

事業開始年度		平成１７年度～	根拠法令・例規等		備前市支所及び出張所設置条例
総合計画	大項目	基本目標	06	健全で自立したまちづくり	問合先 担当課（室） 吉永総合支所　窓口管理課
	中項目	基本施策	01	簡素で効率的な行政運営	職・氏名 参事　高井　利広
	小項目	施　策	12	その他事務管理（財産管理）	電　話 84-2513
事務事業名			03	吉永総合支所維持管理事業	このシート作成に要した時間 2.0 時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	職員及び来庁者
目的（何のために）	吉永総合支所の適正な維持管理を行う
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	来庁者へのサービス及び職員の職場環境向上を図りながら支所維持管理費の節減に努める。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
庁舎維持管理業務	庁舎設置の維持管理、修繕	◎
清掃業務	日常の清掃管理及び庁舎周辺の環境整備（花壇、植木等）	○
補修業務	庁舎建物、設備の修繕	○
共済業務	公用車・建物共済加入等手続き	○
工事業務	庁舎建物、設備等の工事	○

事業費等

事業費等		単位	平成22年度実績		平成23年度実績		平成24年度実績	
決算額 事業費	直接事業費	千円		7,142		7,168		7,305
	必要人員 人件費	千円	0.28人	2,606	0.11人	1,042	0.05人	417
	事業費計	千円		9,748		8,210		7,722
財源	国県支出金	千円						
	受益者負担	千円		48		48		48
	繰入金	千円						
	市債	千円						
	その他（　）	千円						
	一般財源	千円		9,700		8,162		7,674
受益者負担比率		%		0.5%		0.6%		0.6%

結果指標

結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
通常維持管理経費	説明			
結果指標量	㎡	1,332	1,332	1,332
対前年比	%	－	100.0%	100.0%
活動コスト	円	9,748,000	8,210,000	7,722,000
単位当たりコスト	円	7,318	6,164	5,797

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
㎡当たり維持管理コスト	目標値（A）	5000	5000	5000	5000
	実績値（B）	5362	5381	5484	到達目標値
	達成率（B/A）	107.24%	107.62%	109.68%	5000

成果指標設定の考え方・式や説明

通常維持管理コスト（直接事業費）

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性・必要性

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている

市民ニーズ

- □ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：C

効率性の評価

コスト手段

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ■ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- □ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：C

有効性の評価

目的達成度

- □ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- ■ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない

市民参画度

- □ 法定事務　・　内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：C

進行年度（H25年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：光熱水費等の節減に努める。

総合評価

組織として必要な業務であり、概ね良好に実施できているが、経費節減に向けて継続して取り組む。

総合評価（A 高い　B やや高い　C 普通　D やや低い　E 低い）：C

Action

平成25年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：今後も経費節減に向け継続して取り組む。